

千蔭藤○加 大人の別荘にて、庚申祭の夜、季鷹大人を招かれて、千蔭翁のよめる歌  
食物も女も好ける季鷹の得さる。物こそ酒にしありけれ

とあるに、季鷹翁のかへしに、

耳はいとちかげに見ゆれど、蘆若の江去舟とや遠ざかるらん、とよまれたり、

〔松屋筆記 九十二〕庚申の日、鐵漿を著事を忌

俗に、庚申の日、鐵漿を染事を忌といふは誤也。庚辛の干に當れる日に忌也、

〔三養雜記 四〕庚申 心猿 西遊記

庚申塚として、見ざる、聞ざるの三猿を、石もて彫たるを、道の傍に立たり、その欄猴のかたち

は、もと天台大師の三大部の中、止觀の空假中の三諦を、不見、不聽、不言に比したまふことあり、そ

れを猿に表して、傳教大師、三の猿に刻たまへりとかや、

時吉凶

〔二中歷五乾象〕十干吉凶略○中

凡時撰 甲乙日 寅卯立 巳午命 丑未辰戌罰 申酉刑 亥子德 丙丁日 寅卯德 巳午立

丑未辰戌命 申酉罰 亥子刑 戊己日 寅卯刑 巳午德 丑未辰戌立 申酉命 亥子罰 庚

辛日 寅卯罰 巳午刑 丑未辰戌德 申酉立 亥子命 壬癸日 寅卯命 巳午罰 丑未辰戌刑

申酉德 亥子立

〔運步色葉集 吉〕五墓時、甲乙日、未時、丙丁日、戌時、戊己日、辰時、庚辛日、丑時、壬癸日、辰時也、

〔曆林問答集 下〕釋下食時第五十二

或問、下食時者何也、答曰、尙書曆云、下食時者、避其時、不忌其日、沐髮種菓木、忌其時、假令子時、忌其

一時、餘無答、

〔三代實錄十九清和〕貞觀十三年二月八日甲申、自去正月公卿未聽、太政官尋常政、是日始聽之、時改巳一